

お買いあげありがとうございました。

お買いあげいただきました

デンタ (EX400・EM400) を

ご使用になる前に、

必ずこの取扱説明書をお読みください。



片手で持てる発電機  
**HONDA**

**デンタ**

EX 400・EM 400 取扱説明書

# 安全にお使いいただくために、 次のことをお守りください。

●排気ガス中には、有害な成分が含まれています。ご使用になる方はもちろん、まわりの人や家畜などにも十分ご注意ください。室内、倉庫、トンネル、井戸、船倉、タンク内など換気の悪い場所では使用しない。(換気の悪い場所は、酸素不足と有害な一酸化炭素がたまってガス中毒の危険があります)

●使用中は、建物およびその他の設備から1m以上離す。(排気口は、風通しのよい広い場所にむけます)

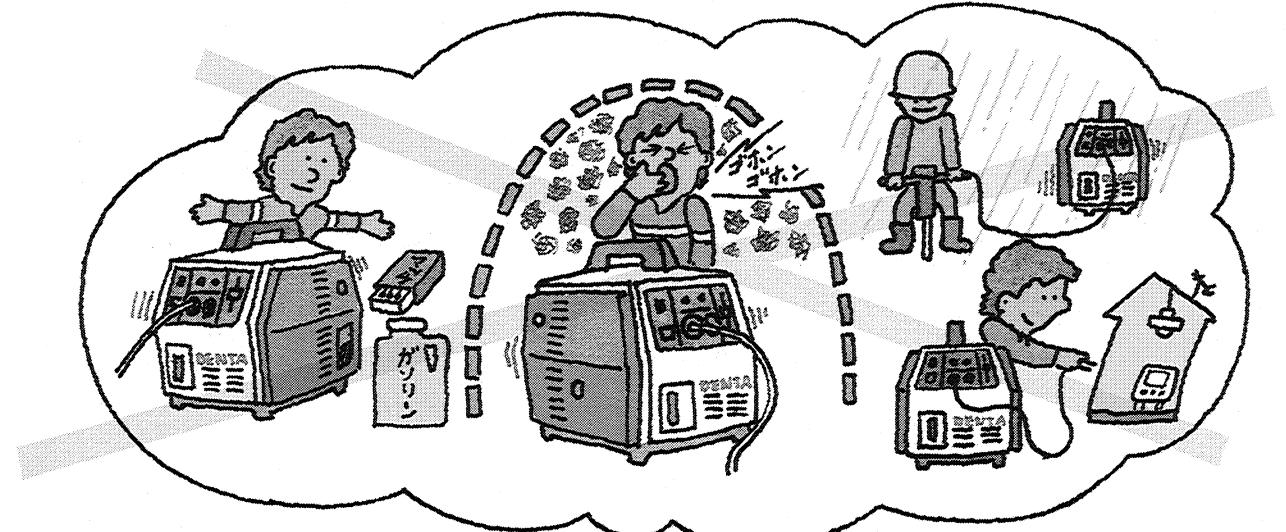
●周囲をかこったり、箱をかぶせたりしない。

●発電機のまわりには、燃えやすいものを近づけない、危険物は置かない。

●屋内では使用しない。

●使用中は、発電機を傾斜させたり、移動しない。  
●ガソリン補給時は、発電機を必ず止める(こぼれたガソリンは完全に拭き取り、かわかしてから始動する、火気厳禁のこと)  
●電力会社からの電気配線には絶対に接続しない。  
●雨の中では使用しない。

※発電機に貼られているラベルも併せてよくお読みください。

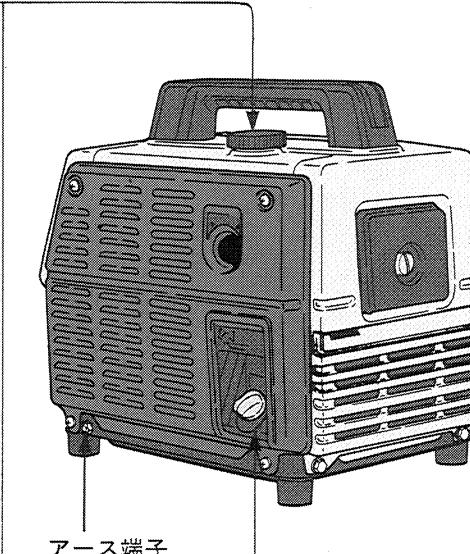
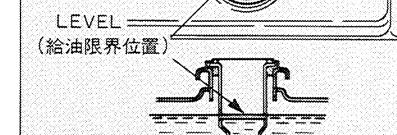


## 発電機をかける前の点検(2つの点検)

点検は平らな場所で発電機を水平にして行ってください。

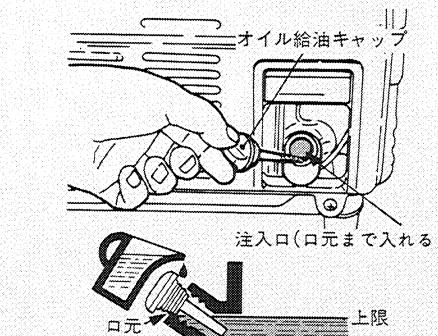
- 点検1 ガソリンは入っていますか  
<使用ガソリン> レギュラ ガソリン(無鉛)  
<容量> 2.0ℓ
  - ・火気厳禁。必ず発電機を止めて補給してください。
  - ・ガソリンがこぼれたら完全にふきとしてください。
  - ・LEVELより上にガソリンを入れないこと。

(注意)



- 点検2 エンジンオイルは入っていますか新しいオイルを口元まで補給してください。

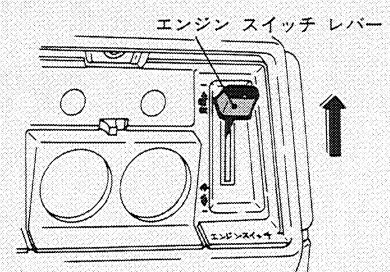
ホンダ純正ウルトラネオ汎用機用S A E #30、ウルトラーU (2輪車用) またはA P I分類S E級相当のエンジンオイル



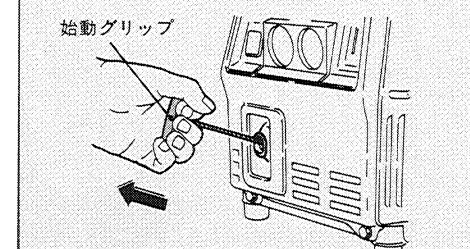
## 発電機のかけかた・とめかた

### 〈かけかた〉

1. エンジン スイッチ レバーを“運転”に合わせてください。



2. 始動グリップを引き重くなったところから勢いよく引いてください。

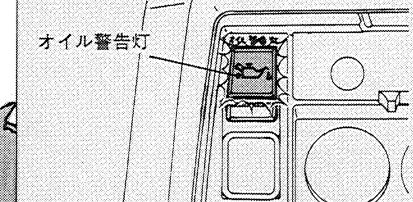


- (注意)
- ・グリップを引いたまま手を放さないでください。始動装置を破損することができます。
  - ・運転中は始動グリップに手を触れないでください。エンジンに悪影響を与えます。

### 〈EX400 オイル警告灯〉

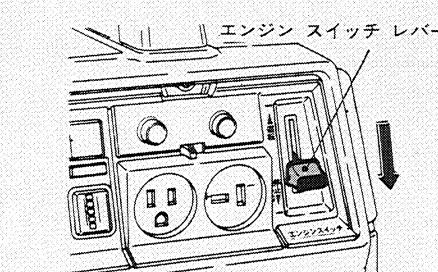
エンジン オイルの量が少なくなると点灯します。

- ・始動直後はオイル警告灯が一瞬点灯しますが異常ではありません、警告灯の確認です。
- ・もし点灯した場合は発電機をすぐに止めエンジン オイルを補給してください。



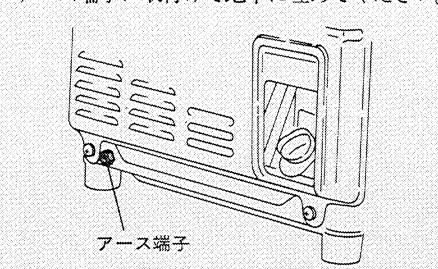
### 〈とめかた〉

- エンジン スイッチ レバーを“停止”に合わせてください。



### 〈アース端子〉

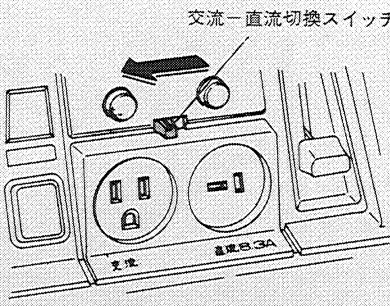
接続電気器具をアースした時は発電機の本体も必ずアースしてください。アースコードをアース端子に取付けて地中に埋めてください。



# 電気の取り出しかた

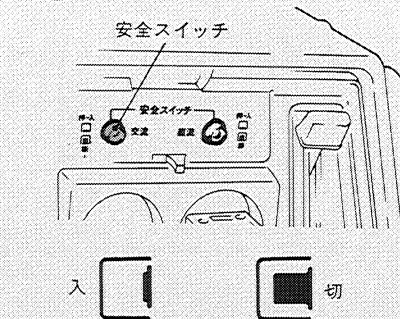
## ●交流(AC)

1. 交流-直流切換スイッチを交流に合わせてください。

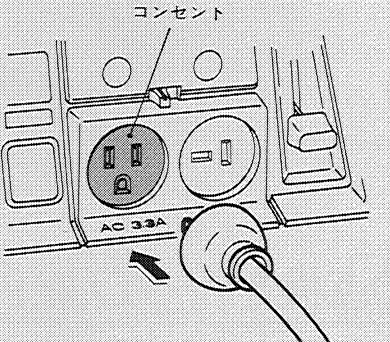


2. 安全スイッチを押してください。

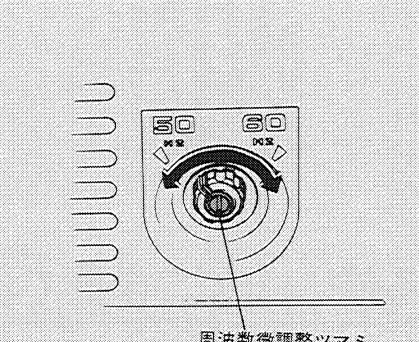
**注意** 過負荷の場合及び電気器具に異常がある場合は安全スイッチが“切”になります。



4. コンセントへ接続器具のプラグを差し込み電気器具のスイッチを入れます。

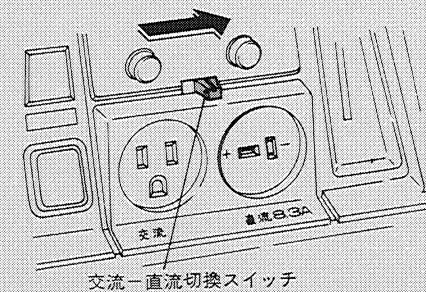


5. 器具の接続により周波数の変動があった場合は周波数微調整ツマミで微調整をしてください。

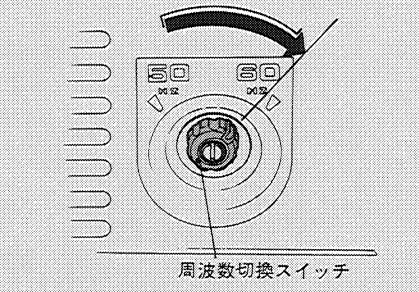


## ●直流(DC) [12Vバッテリ充電専用(NT型は24Vお茶刈機専用)]

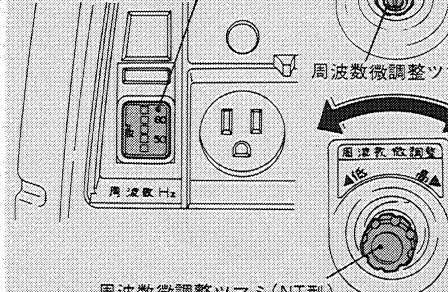
1. 交流-直流切換スイッチを“直流”に合わせ安全スイッチを押してください。



2. 周波数切換スイッチを“60Hz”に合わせてください。  
・NT型は切換スイッチはありません。

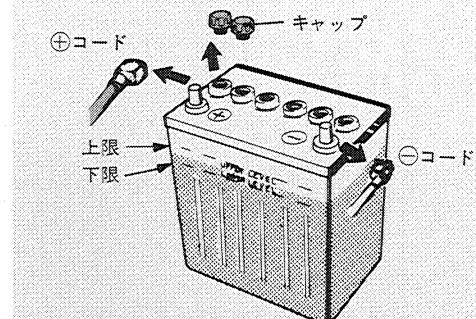


3. 周波数計の振れが60Hzになるよう周波数微調整ツマミで微調整をしてください。

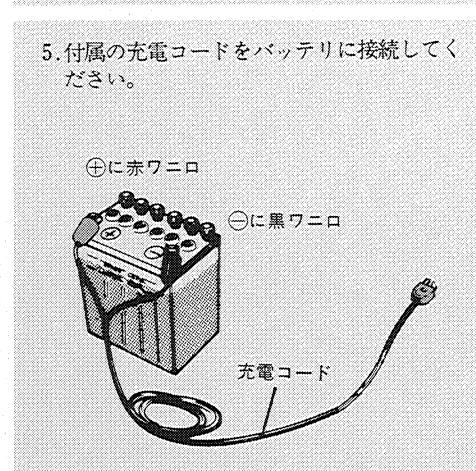


## [12Vバッテリ充電]

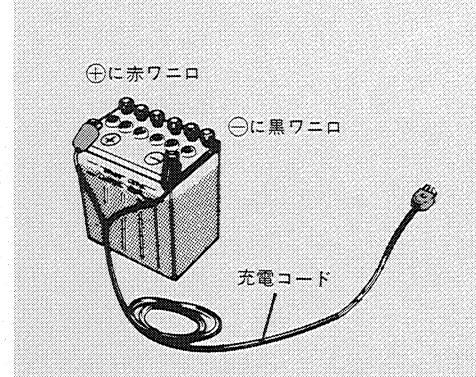
1. バッテリのコードを外す。(+)コードを先に取外してください。



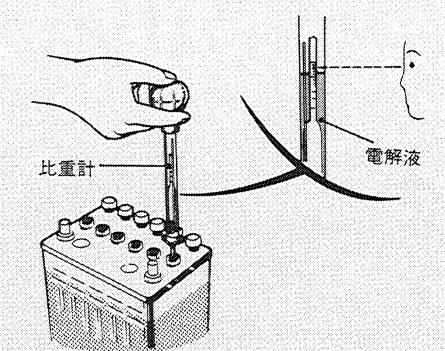
2. キャップを取り外し液量を確認し少ない時は蒸留水を補給してください。



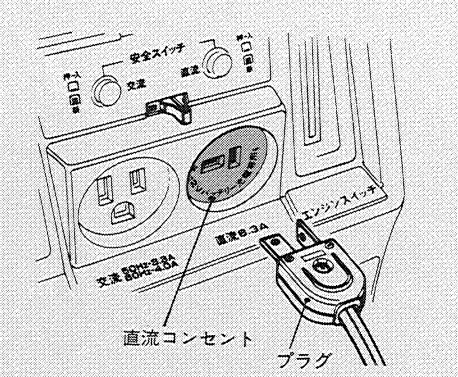
5. 付属の充電コードをバッテリに接続してください。



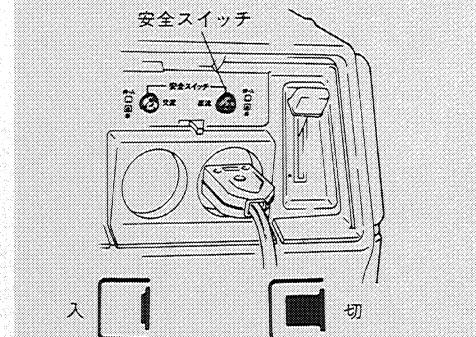
3. 比重計を使用し比重を計ってください。



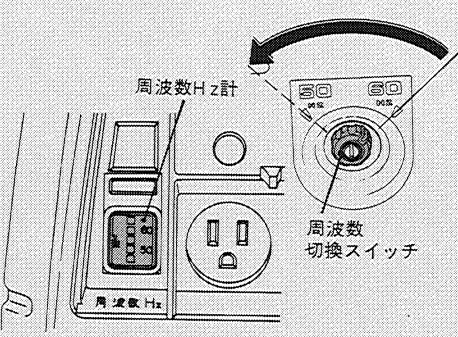
6. コンセントに充電コードのプラグを差し込んでください。



7. 充電中に安全スイッチが“切”になった場合は、逆接続、ショート等がないか確認後、安全スイッチを“入”にして充電してください。



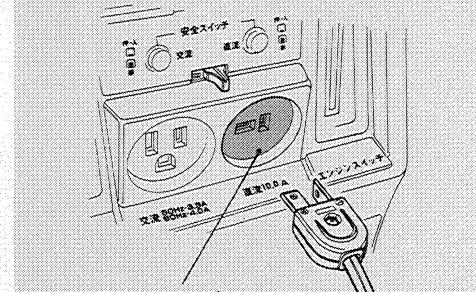
8. 安全スイッチを“入”にしてもすぐに“切”になる場合は周波数切換スイッチを50Hzに合わせてください。



## [お茶刈機使用のしかた(NT型)]

- お茶刈機をご使用になる時はお茶刈機の取扱説明書にしたがってください。

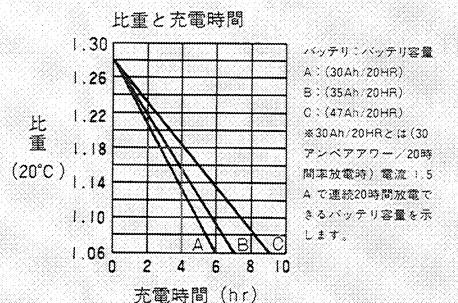
- ・このコンセントから24V-240Wまでの直流出力が取り出せます。



## 比重と充電時間のめやす

4. バッテリの比重を基に充電時間をもとめてください。

- ・例：下記の赤線は比重1.18の47Ah/20HRバッテリを約4時間充電すると満充電になることを示しています。



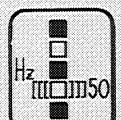
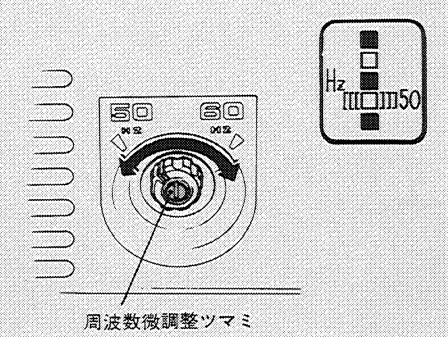
- ・バッテリの種類、放電状態によって充電時間は異なる場合があります。

- ・充電コードのワニ口部の(+)極性を間違いく接続してください。

- ・バッテリからは可燃性の水素ガスが発生しているので取扱うときは風通しのよいところで火気を近づけないでください。爆発の危険があります。また、バッテリ液が目、皮ふに着くとその部分が侵されますので十分ご注意ください。万一、付着したときはすぐ多量の水で少なくとも5分間以上洗浄し、専門医の診察を受けてください。

- ・比重は1時間おき位いに、また安全スイッチが切れていないか確認してください。(自安として満充電の比重は1.26～1.28です)

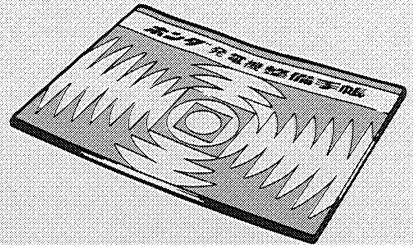
9. 周波数計の振れが50Hzになるように周波数微調整ツマミで微調整してください。



# 定期手入れのしかた

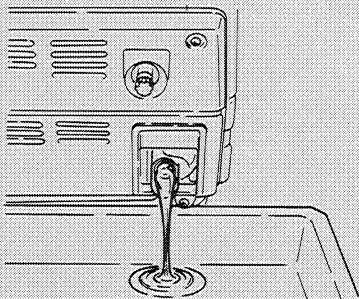
## ●定期点検を受けましょう

・デンタを末長くご使用いただくために定期点検を受けてください。詳細は別冊「整備手帳」をご覧ください。

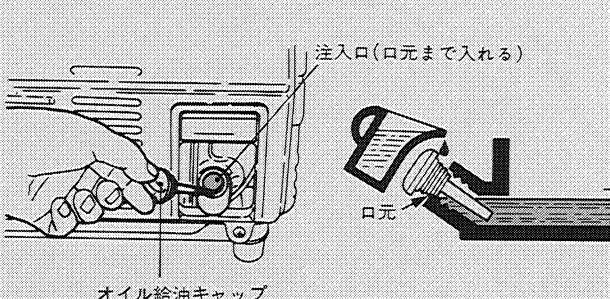


## エンジンオイルの交換 初回:20時間目、以後:100時間毎

1. オイル給油キャップをはずし本機を傾けて抜きます。



2. 注入口の口元まで新しいオイルを注入し、オイル給油キャップがゆるまないように確実に締付けてください。



### 〈指定オイル〉

ホンダ純正ウルトラネオ汎用機用 SAE #30、ウルトラーU (2輪車用) または API 分類 SE 級相当のエンジンオイル

・発電機停止直後は、発電機本体の油温が高くなっていますので、やけどをしないよう注意してください。  
・オイルは、使用しなくても自然に劣化します。定期的に点検・交換を行いましょう。

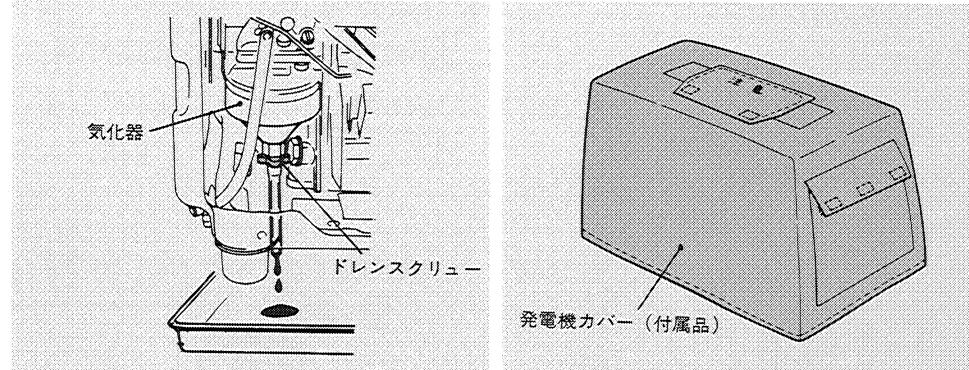
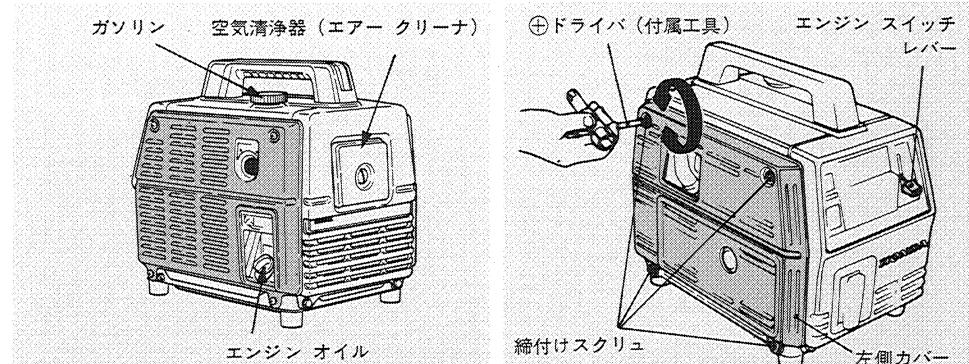
### 注意

長期間使用しない場合は次の手入れを行ってください。

1. 発電機各部の清掃を行う。
2. エンジンオイルを交換する。
3. 空気清浄器(エアクリーナ)を清掃する。
4. ガソリンを抜いてください。  
・ガソリンを長期間燃料タンク内に入れたままにすると変質し故障の原因になります。  
1) 燃料タンク内のガソリンを抜く。  
(ポンプで吸い出すか、発電機をさかさまにして行ってください)。
- 2) 気化器内のガソリンを抜く。  
a. カバー締付けスクリュを外し左側カバーを取り外す。  
b. エンジンスイッチレバーを“運転”的位置にする。  
c. ドレンスクリュをゆるめ容器にガソリンを抜く。
3. ドレンスクリュを締め、エンジンスイッチレバーを“停止”的位置にし、外したカバーを取付けてください。
4. 付属の発電機カバーをかける。

### 注意

- ・ガソリンを抜く時は火気厳禁。
- ・カバーは発電機が冷えてから掛けてください。
- ・湿気、ホコリ等の少ない場所に防錆スプレー等をかけ保管してください。
- ・再始動をする時は必ず発電機カバーを取り外して行ってください。



# 修理を依頼される前に、まずご自分で次の点検を行ってください。

点検された上でなお異常のある場合は、お買い求めの販売店または最寄りのホンダサービスの各地区センターへお申しつけください。

## ○発電機がかからないとき

- ①発電機をかける前の点検はお済みですか。
- ②かけかたは正しい順序でしたか。

## ③点火プラグがぬれていませんか

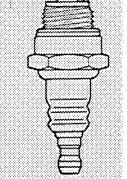
- ぬれているときや汚れているときは布できれいにふいてください。



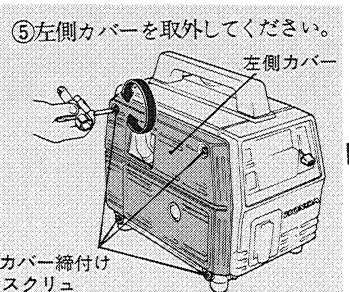
④点火プラグのすき間は正しいですか  
●すき間が正しくないときは、はがきが4枚入るようにしてください。3枚では狭く、5枚では広すぎます。

“はがき”を入れて点検する

はがき  
4枚入る  
すき間  
(0.9—1.0mm)

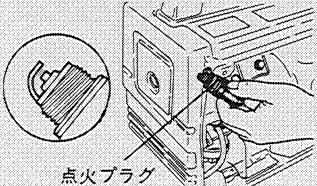


## ⑤左側カバーを取外してください。



## ⑥点火プラグから火花が出ますか

- 火花が出ないとき、新しいプラグと交換してください。



注意

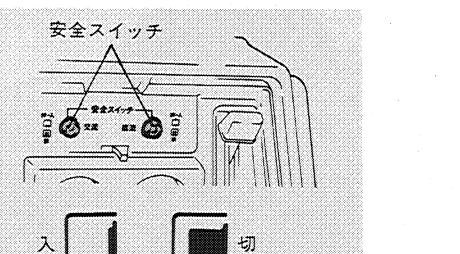
・ガソリンが付着していると引火するおそれがありますので、完全にふき取ってから行ってください。  
・必ずプラグ穴から離したところでプラグキャップを持ってアースしてください。

## ○電気が取出せないとき

- ①定格出力以内で使用していますか

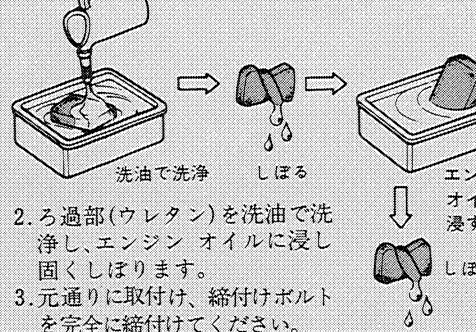
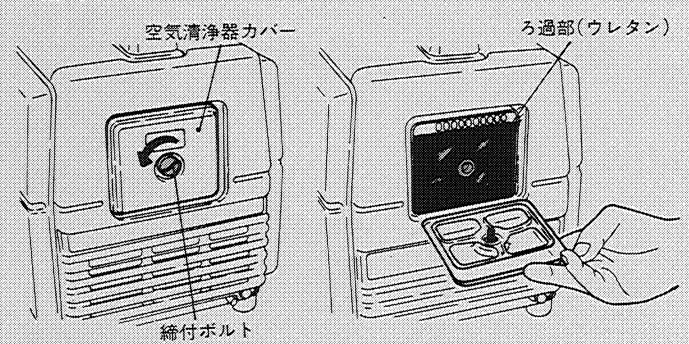
## ②安全スイッチが“切”になっていますか

- ・接続器具に異常がないか確認してください。
- ・異常がなければ安全スイッチを押してください。



## 空気清浄器(エアクリーナ)の清掃 清掃:50時間毎 ホコリの多い場合は1日1回 または10時間毎

1. 空気清浄器カバーを取り外し、ろ過部(ウレタン)を取り外します。



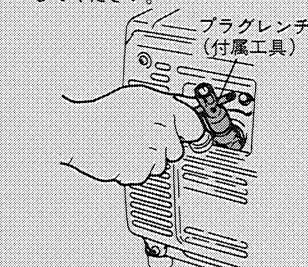
・ろ過部(ウレタン)を洗浄する時は火気厳禁。  
・カバー、ろ過部(ウレタン)の取付けが不完全な場合には発電機の耐久性に著しく悪影響を与えます。

### 注意

## 点火プラグの点検・調整 清掃:100時間毎

### 〈清掃のしかた〉

1. 点火プラグを取り外します。
2. プラグの清掃はプラグクリーナを使用するものが最も良い方法です。お買いあげ販売店または最寄りのホンダサービスの各地区センターをご利用ください。
3. プラグクリーナが無いときは針金かワイヤープラグで汚れを落してください。

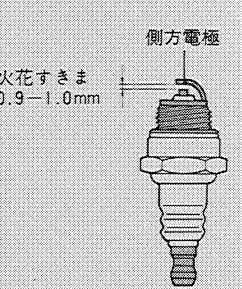


### 〈調整のしかた〉

1. 側方電極をつめ、火花すきまを0.9—1.0mmに調整します。

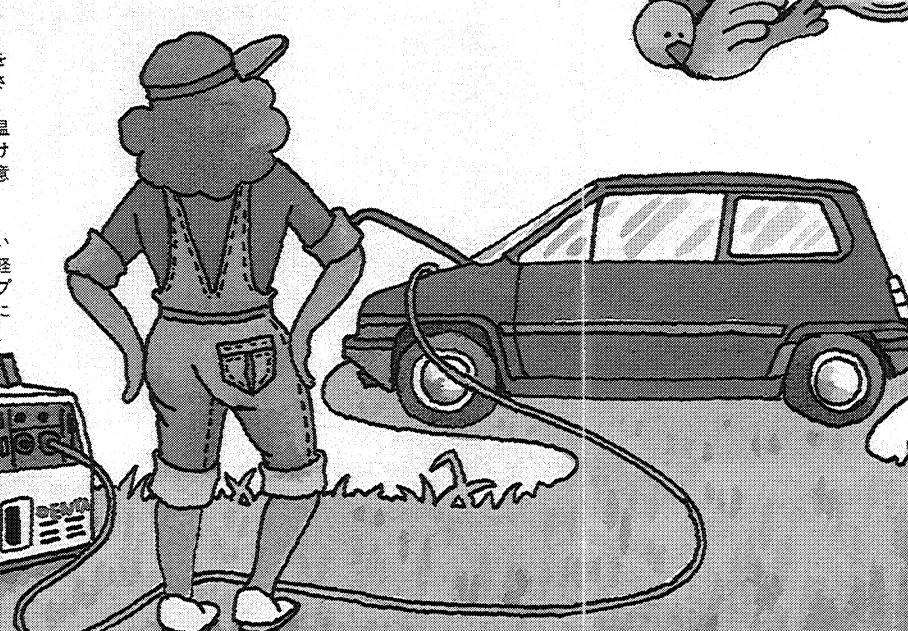
### 〈指定プラグ〉

BPMR4A-10 (NGK)  
W14MPR-U10 (ND)



### 注意

- ・指定以外のプラグを使用しないでください。
- ・発電機停止直後は温度が高いので、やけどをしないよう注意してください。
- ・プラグの取付けは、ねじ山をこわさないように、まず指で軽くねじ込み、次にプラグレンチで確実に締付けてください。



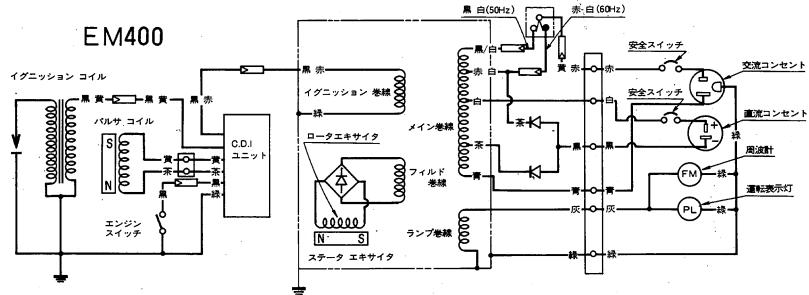
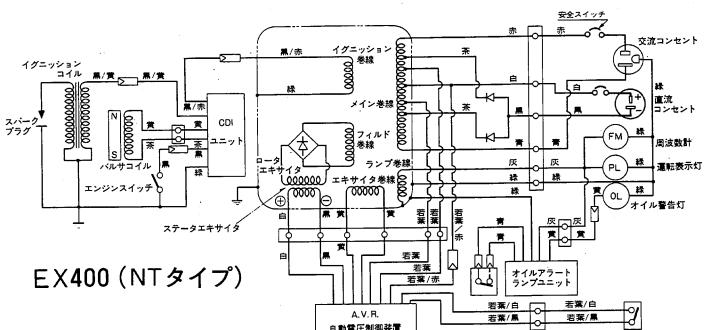
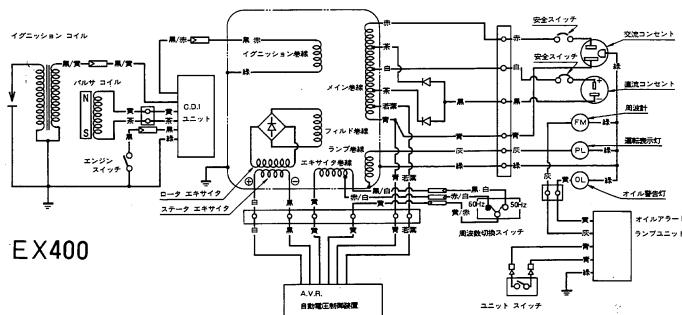
## 主要諸元

項目	仕様諸元	項目	仕様諸元
原動機の型式	強制空冷4サイクルサイドバルブ	潤滑油量	0.35ℓ
総排気量	59.8cm³	寸法	全長355mm全幅250mm全高325mm
内径×行程	46×36mm	乾燥重量	18kg
タンク容量	2.0ℓ(約4時間連続運転可能)	型式認可番号	EM/EX400 第96-317号 EX400NT 第96-238号

### <出力>

周波数	交流	直流					
		電圧	定格出力	最大出力	電圧	出力	用途
EM400 EX400	50Hz	100V	330VA	400VA	12V	100W	バッテリ充電専用
	60Hz	100V	400VA	500VA	12V	100W	
EX400NT	60Hz	100V	400VA	500VA	24V	240W	お茶刈機用

### 配線図



### デンタで使える電気製品いろいろ

( ) 内は消費電力の目安です(ただし、機器の大きさ、製造メーカーにより異なります)。

ラジオカセット	(20W)	ミキサー	(120~250W)	冷蔵庫	(40~100W)	ビデオ撮影機	(40~100W)
テレビ<白黒>	(25W)	ポット	(350W)	ヘアドライヤー	(350W)	電気ドリル	(230W)
テレビ<カラー>	(85~185W)	酒かん器	(220W)	ヘアカラーリー	(320W)	電気丸のこ	(350W)
白熱灯	(100W)	電気がまく(0.6ℓ)	(300W)	無線機	(30~120W)	電気タッパー	(200W)
螢光灯	(15~40W)	電子ジャー(1.5ℓ)	(35W)	魚群探知機	(50W)	バッテリー充電	
水銀灯	(40W)	コーヒーメーカー	(350W)	投光機	(100~300W)	その他	

\*これらの電動機器を組み合わせてご使用になる場合は、それぞれの機器の入力合計を発電機の出力以内になるようご使用ください。ただし、螢光灯、水銀灯は1.1倍~2倍、電動工具などを使用する場合は、使用機器の入力に対して1.25~1.5倍。水中ポンプ(電動モーター)を使用する場合は、3~5倍の発電機出力を目安としてください。

お買いあげいただきました製品やサービスに関するお問い合わせの点、ご意見がございましたら、お買いあげいただいた販売店または右記の<ご相談窓口>に、お気軽におしつけください。

なお、ホンダサービスの各地区センターでもお受けいたしますしております。

#### <ご相談窓口>

株式会社ホンダサービス  
北海道業務室お客様相談窓口  
〒061 北海道札幌市中央区北一条西7-1 ☎011(261)2073  
(本田技研工業㈱札幌支店)  
株式会社ホンダサービス  
東北業務室お客様相談窓口  
〒980 宮城県仙台市土崎通1-11-2 ☎0222(24)6002  
(本田技研工業㈱仙台支店)  
株式会社ホンダサービス  
北関東業務室お客様相談窓口  
〒379-21 群馬県前橋市長坂町314 ☎0272(61)0335  
(株)ホンダサービス前橋センター内)  
株式会社ホンダサービス  
南関東業務室お客様相談窓口  
〒156 東京都渋谷区神宮前6-27-8 ☎03(486)6271  
(本田技研工業㈱東京支店)

○所在地、電話番号が変更になることがありますのでご了承ください。 ○ホンダサービスの各地区センターの所在地は別冊整備手帳をご覧ください。

